

戦後70年 『かわいそうなぞう』を聞く会

まちかど情報室

「あの戦争を忘れない」



『かわいそうなぞう』
【金の星社刊】表紙

8月22日（土）の午後、狭山台公民館に「童話『かわいそうなぞう』（土家由岐雄・作）を聞く会」取材しました。新聞各紙に告知記事が出た影響で、遠方からの参加者も多数あり、ホールは満席でした。

土家由岐雄さんは長く狭山台公民館近くに住んでいた童話作家で、『かわいそうなぞう』は代表作です。また、子供の視点に立って詠む「童句」の創始者でもあります。

物語は、先の戦争で空襲が激しくなり、動物園で飼われていた動物が逃げだし、暴れるのを避けるために殺処分を決行しました。なかでも、芸をする人気ものの3頭の象は餓死処分にされました。飼育員は空襲する敵機に向かって慟哭して叫びました「戦争はやめろ！」

この物語は実話に基づいて創作され、戦争の惨さ、平和の尊さを訴えた名

作となりました。1970年以來、国語の教科書に採用され、英訳、仏訳でも出版されるなど、長く読み継がれています。この催しは狭山童句研究会と狭山台公民館の共催で開催されました。『かわいそうなぞう』を聞く会の代表の杉山隆二さんは「戦後70年、経済的に立ち直った日本は戦争の悲惨さ、犠牲になった多くの人々を忘れてはならない。その思いを強くして、この童話の朗読を聞きましよう」と挨拶しました。



凛として『かわいそうなぞう』を朗読する芝田さん



会場は大勢のお客さんで満席になりました（公民館ホールにて）

『かわいそうなぞう』は童句研究会の芝田恵美子さんが朗読し、他の土家由岐雄作品『ビキ二島のかめ』と『日本のふしぎ話』より「ためきの恩がえし」を笠本睦子さんが朗読しました。

終わりに、土家氏と親交のあった広沢一岐さん（童句振興協会・会長）は故人のエピソードを紹介しながら「土家先生は狭山を愛していた。先生のテーマは思いやり、そして平和への熱望でした。私たちは、今日のこのイベントを、このテーマを大事にして、より良い街づくりのスタートにしよう」と結びました。

——来場者に聞きました。

「20数年前、評論家の秋山ちえ子さんがラジオの番組で終戦記念日に毎年この本を朗読していて、それから私は毎年この日にラジオを聞きました。子どもが幼いときに本を買い与え、その子どもは今年で30才になりました」（女性、狭山台4丁目在住）【葛西記者】

会では狭山台中央通りに掲示されている童句の鑑賞も行いました。また7月には恒例の「童句翁忌句会」を狭山台公民館で開催し、土家由岐雄先生を偲びました。

<27年度 特選作品>

- 庭先に 数字のような キュウリたち （末友クニさん）
- ドクダミは 白いドレスで 勢ぞろい （酒井好子さん）



広沢一岐さん

お知らせ

狭山台団地にコミュニティカフェ“けやき”がオープンしました！

コミュニティカフェ“けやき”は団地居住者の有志によるボランティアグループ「けやきの会」が運営しています。日常生活の中でお茶を飲みながらおしゃべりをして、寛いでもらう居場所づくりを目指しています。現在は試行期間ですが、今後は常設を検討中ですので、近隣にお住いの皆さん、お気軽にお立ち寄りください！ボランティア運営スタッフも募集しています。



[今後の予定]

10月5日（月）～ 9日（土）
10：00～16：00

[場 所]

狭山台団地4街区4号棟108号室（4街区広場）

[メニュー]

- コーヒー・紅茶（ホット・アイス）200円
- さやま茶（ホット）100円
- ジュースなど（アイス）200円
- ※ すべてのメニューにお菓子がつきます



狭山台健康歩こう会 会員募集中！

狭山台健康歩こう会は新会員を募集中です！夏も終わり、運動が気持ち良い季節になってきました。皆さんの参加をお待ちしています！

[今後の予定]

9月26日、10月10・24日（土）
9：00～11：00頃まで

[集 合] 狭山元気プラザ 屋内運動場

[費 用] なし [申込み] 不要

[主 催] 狭山台健康歩こう会
（狭山台地区自治会連合会）



介護者のための「リフレッシュサロン」

[日 時] 毎月第1月曜日 13：00～15：00

※ 10月は5日（月）に開催

[場 所] 狭山台地区センター別室（狭山元気プラザ内）

[費 用] 100円 [申込み] 不要

[問合せ] 富士見・狭山台地域包括支援センター

Tel:04-2969-0080

今月から国勢調査
が始まります！